

静岡文化情報・

(財) 静岡市文化振興財団

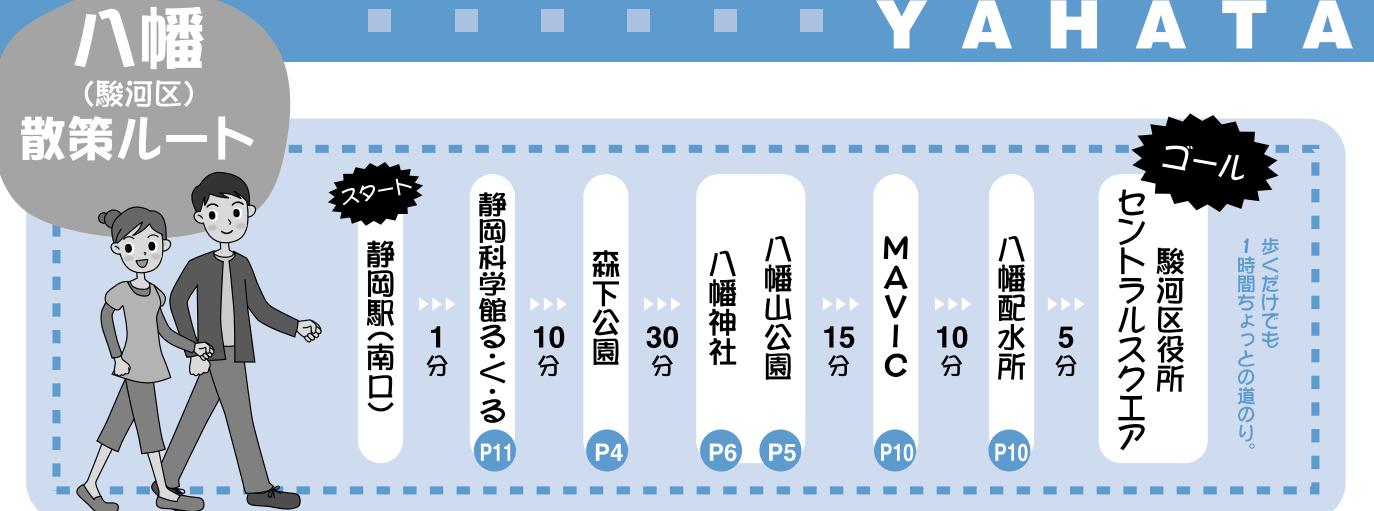
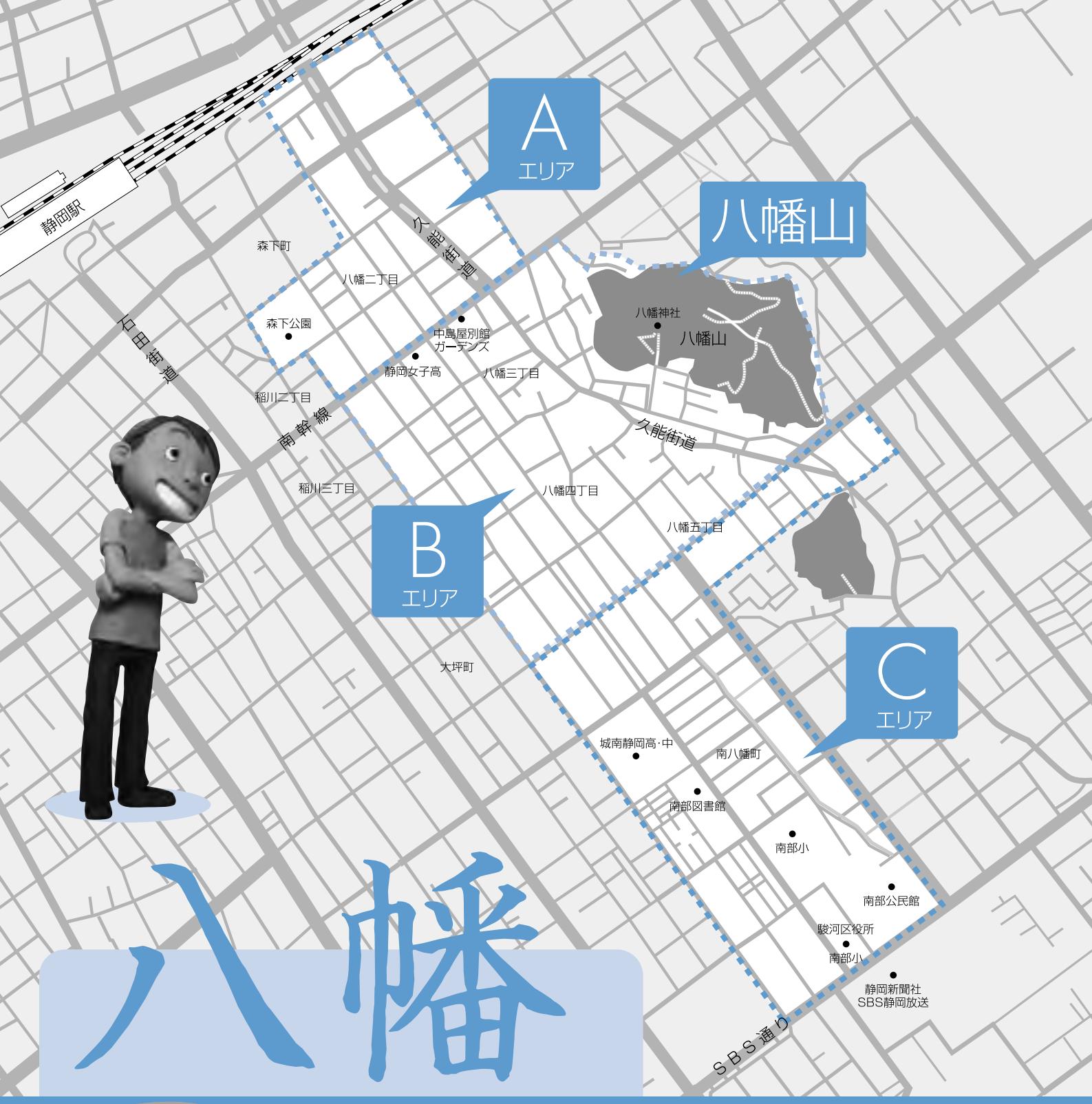
# まちかど"

VOL.31

MACHI-KADO



八幡界隈



# 八幡の踏切

数年前に東京で“開かずの踏切”が話題となっていたが、昭和50年代まで静岡市内にも“開かずの踏切”があった。そのうちの一つが通称「八幡の踏切」(もう一つは現在の中央郵便局南側にある南町の踏切)で、国道1号と久能街道が交差する日吉町交差点の南側(静岡ガス本社の北側)に存在していた。現在でも年配の方は「八幡の踏切のところを下って…」など、道しるべとしてこの場所を挙



写真:海野幸正氏『刻は流れて』より転載



げる方もいるほどである。

ひとたび遮断機が下りると數十分間も開くことがなく、踏切自体が非常に広かつたため、ラッシュ時に自転車や歩歩でこの踏切を越えるにはちょっとした技術と度胸が必要だったようである。昭和30年代には歩行者が踏切を渡るための跨線橋を設置され、昭和50年代半ばには完全に高架化されて自動車も踏切待ちのイライラから開放された。この跨線橋の上からは子ども達が大好きな機関車を見る能够ため、休日には地域の子ども達にとって格好の遊び場になっていたようである。



現在の様子

# 久能街道

伝馬町の旧東海道南側に「久能山東照宮道」という石碑がある。(静岡駅南口にある「久能山東照宮」の石碑は、昭和20年代までこの場所に建っていたものを移転。)ここから八幡を通り、大谷を経て久能山まで続くのが久能街道。

元々は聖一国司が修行した久能寺への参拝道であったが、武田信玄統治時代の久能城築城により久能寺は移転され、後に建立された久能山東照宮の参拝道として知られている。

徳川家康の死後、家康をまつった東照宮への参拝道として整備され、参勤交代のたびに多くの大名がこの道を通って東照宮参拝をしたと伝えられている。また、この街道は駿河湾(久能海岸)から海産物や塩を駿府へと運ぶために使われており、駿府中心部を通じて北部へと通じる安倍街道や藁科街道へ繋がり、さらには東西を走る東海道へも繋がる。古代から現代にいたるまで静岡(駿府)の街が発展するために重要な役割を担ってきた街道である。



# 八幡

A  
エリア



## 静岡ガス株式会社 ①

明治43年（1910年）の設立以来、生活に欠かすことのできないエネルギーの一つである都市ガスの供給を担いつつ、現在と同じ八幡一丁目（設立当時の地名は「森下」）の地にあって、地域の変遷を見守り続けている。近代以降の八幡地区の変遷もさることながら、都市ガスの「役割」も大きく変化してきた。最初はガス燈などの照明用、次いで炊事や暖房などの家庭用になり、現在では産業用エネルギーとしても活用されている。加えて、「地球温暖化」などの環境対策が課題となっているなか、都市ガスの原料となる天然ガスが地球に優しいエネルギーとしても注目されており、地域と環境に関する活動にも力を注いでいる。



昭和初期、静岡ガス本社より八幡山を望む。

## 森下公園 ②

昭和20年に開設した古くからある公園の一つ。東京ドーム1個分の広さ（12,366m<sup>2</sup>）がある園内は、遊具ゾーン、広場ゾーン、ローラースケート場など区分し設置され、市内の公園で始めて設置されたユニバーサルデザインのトイレもある。大きく成長した樹木が茂る園内の南東部には多くのサクラが植えられ、シーズンには多くの花見客で賑わう。7月には、市の花で背丈が3メートルにもなるタチアオイも楽しむことができ、年間を通して近隣の会社員や学生、グランドゴルフを楽しむ人などで賑わう公園である。



## 大塩漢方薬局 ③

雰囲気のある店構えの中に入ると、明るい笑顔が迎えてくれる。薬剤師で店主の大塩雪江さんだ。八幡で生まれ育った大塩さんが薬剤師としてキャリアを積んで、地元に戻り開業したのが昭和61年。以来20年以上相談薬局として地域の健康を見守ってきた。自分の健康は自分でつくる“セルフメディケーション”をお手伝いする漢方薬局として、さまざまな症状にあわせて漢方を調合する。その明るい人柄から地域の人たちのたまり場となり、「大人の駄菓子屋」というのがまさにぴったりな場所だ。



### 二丁目レディース

大塩さんを始め、八幡二丁目町内会の女性で結成された二丁目レディース。毎月発行の会誌「パワーレディース」や旅行、親睦会などを通して親睦を深めている。「女性が結託すると地域がまとまる」と。ファーストネームで呼び合う、気の置けない地域の仲間がこのまちの明るさをつくっているのだろう。



## Slow Food 3104 ④

（スローフード さとし）

閑静な住宅街の中のビルの1階、円形の障子窓が目印。地元出身の朝比奈賢（さとし）さんが出迎えてくれる。「女性が楽しめるお店」と、平成19年6月にオープン。“ゆっくりと食事とお酒を楽しんでもらう”がコンセプトの木をふんだんに使った店内で、賢さん手作りの料理が楽しめる。おすすめは手作りのゴマ豆腐。夕方5時からの営業。月曜休み。



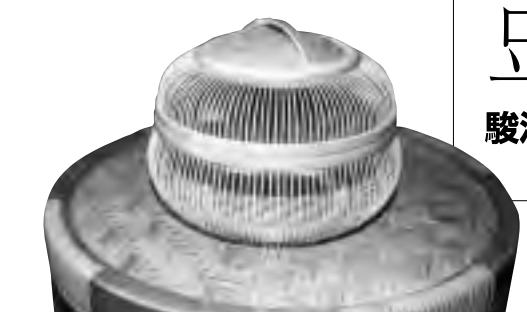
## 篠宮竹細工所 ⑤

国の伝統的工芸品に認定されている駿河竹千筋細工 伝統工芸士 篠宮康博さん（写真左）の工房。静岡竹工芸協同組合の理事長を務める篠宮康博さんは、昭和32年父を師に竹細工職人の道へ入り、その後竹千筋細工の技術を学び、昭和41年より現在の工房を設立。竹編み技術と竹千筋細工の技能を融合した作品作りで、独自の竹の世界を表現している。作品の制作とともに次の世代の育成にも取り組む。経済産業省と伝統的工芸品産業振興協会の依頼で小学校を対象に体験講座の出張講師なども行い、「若いうちからものづくりの楽しみを知ってもらいたい」という。また、若手職人の育成として大村恵美さん（写真右）の指導にもあたる。大村さんは、篠宮さんの作品と展示会で出会い、静岡市が伝統工芸後継者育成を支援するクラフトマンサポート事業を活用し、職人の門をたたいた。今年で8年になる大村さんだが、「ここでよいという区切りはない。繰り返し覚えていくことが仕事です。」と職人の心構えを語ってくれた。篠宮さんの作品は静岡駅の駿府楽市や駿河区丸子の駿府匠宿などで購入できる。



## 豆知識 駿河竹千筋細工

静岡は、昔から周辺に良質の竹を産出し、「駿河細工」と称され、竹製品が親しまれています。天保年間に岡崎の藩士である菅沼一我が静岡に立ち寄り、現在の駿河竹千筋細工の技術・技法が伝えられました。その後、竹千筋細工の花器・虫籠などが作られ街道を行き交う旅人に売られていきました。駿河竹千筋細工は、一般的な平ヒゴを編む技法と異なり、丸ヒゴを組んで作る技法が特徴で繊細優美な製品に仕上げます。花器・菓子器・盆・行灯などが作られています。また、昭和51年に静岡県で初めて通産大臣（現 経済産業大臣）から国の伝統的工芸品に指定されています。（静岡市HPより引用）





# 八幡山散策マップ

江戸時代までは南幹線をまたいで大和町あたりまで山があったが、明治時代の石切りにより現在の大きさに削られた。昭和中期には、東名高速道路建設の用土として山全体が無くなる計画もあり、その時山全体が行政に買い上げられた。結果的に計画は中止になり、八幡山公園として整備された。標高約63メートルという小さな山であるためハイキングに最適（約10分で頂上）で、頂上からは静岡平野と駿河湾が一望でき、天気が良ければ富士山も観ることができる。桜の名所としても有名。



## 八幡山公園 a

八幡神社の土俵脇の小道を抜けると、八幡山公園（実際には頂上まで公園）がある。ブランコや砂場など、子どもが遊べるよう整備されているだけでなく、定期的にグラウンドゴルフや太極拳が行われるなど地域の憩いの場となっている。中でも太極拳は、八幡在住の山崎さん（90歳）が約20年前から健康のために始めたのがきっかけで、今では毎週火・木曜日の昼過ぎから地域の人たちと一緒に楽しんでいる。



## 八幡神社 b

創建については口伝が多くはっきりとしないが、「推古天皇5年（約1,400年前・飛鳥時代）」という文書があるほど歴史の深い神社。“八幡”的名のとおり、源氏の守護神として武士の崇敬を集めていた。久能山東照宮に参詣するために江戸時代に整備された久能街道を、この神社の宮司が治めていた時期もあった。拝殿の東側には立派な土俵があって、静岡市相撲連盟による相撲教室が毎週行かれているほか、毎年8月15日の八幡神社例大祭では「古式土俵子供土付」という特殊神事で使われている。昭和時代後期には、この土俵を使って大相撲・東関部屋が出稽古に来ていた。また、例大祭の夜には、見ごたえ十分の奉納花火が打ち上げられ、お正月の初詣をはじめ毎年4,000人以上が参拝する賑わいのある神社。



## 特殊神事 「古式土俵子供土付」

今川氏親（義元の父）と小鹿満の家督問題を、伊勢新九郎（北條早雲）が収めた物語を模したといわれている。1~2歳の男の子にまわしをつけ、土俵に上げて横綱（実際には15~16歳の少年）を投げ飛ばせるという神事。参加すると、記念にポラロイドカメラで撮った写真ももらえる。

第3回 駿河区写真コンテスト銅賞作品  
「土付相撲」／河村 圭子（八幡神社）



## 八幡山古墳

八幡神社の本殿内には横穴式古墳がある。古墳時代にこのあたりを統治した豪族・有度部牛麻呂（うどべのうしまろ）の墓と言われており、発掘当初から「浅間神社へつながっている」「久能山東照宮に抜けられる」など様々な憶測が飛び交った。地形上・構造上考え難いことは明らか（調査の結果そのような事実はなかった）だが、歴史ロマンを膨らませた当時の人々の豊かな想像力が伺える。



## 八幡山城址 c

今川氏が築城したと言われていますが、江戸時代初期にはすでに廃城になっていた。文明年間にあった今川家お家騒動を鎮めた伊勢新九郎（後の北条早雲）がこの城を修築し、後に武田信玄や徳川家康が駿河を統治した時代にもここを使用するなど歴史の深い場所で、現在も曲輪や堀切などの遺構が残されている。

## 豆知識 伊勢新九郎盛時 (後の北条早雲)

始めは室町幕府の御家人で、文明年間（1476年）にあった今川家お家騒動を鎮めた功績により興國寺城（沼津）を与えられて勢力を高め、1493年には足利氏の堀越公方を倒して下克上を実現し、最初の戦国大名となった。やがて小田原城を拠点に相模国を征服し、死後に子の氏綱が北条氏を名乗って関東制覇を成し遂げた。



# 八幡

B  
エリア

## コーヒー豆屋くれあーる 6

2001年に八幡でオープン。全国の16人の仲間とともに「珈琲の味方塾」というグループを作り、定期的に研修会を開いてコーヒーの研究に励んでいる。また、高品質コーヒー国際審査会などで上位入賞をした優秀な生産者のもとへ足繁く通い、独自に信頼関係を築いて仕入れを行うことで良質なコーヒーを提供し続けている。店名「くれあーる」はスペイン語の「創作」という言葉からつけられた。



## 中島屋八幡ガーデンズ 7

中島屋80周年記念事業の一環として1997年にオープン。施設は、四川料理レストランの八幡四川飯店と、結婚式やパーティーなどに利用できるパーティーハウス・ガーデンズの2つで構成されている。四川飯店は、料理の鉄人でお馴染みの陳建一氏が顧問を務める本格的な四川料理を楽しめるだけでなく、リーズナブルな価格のランチも提供している。特にフカヒレ料理や、陳建一プロデュースの麻婆豆腐が人気を集めている。地域の集会やお祭りの打ち上げなど地元の利用はさることながら、県内各地からお客様が訪れている。ガーデンズはいつも綺麗に整備されているガーデンテラスを中心に、チャペルも完備されており、結婚式や各種パーティーに幅広く利用されている。定期的に参加費無料で「ウェディング体験の日」が開催されており、模擬挙式や料理の一部を体験することができるほか、自分たちだけのウェディングの相談やコーディネートを受けることができる。



## イタリア軒 8

八幡の地に店を構えて30年。もともとイタリア料理店を始めた店主が、ラーメンの奥深さを追求するうちにラーメン屋になった。本物を追求して添加物や化学調味料を極力使わず、出汁の材料や自家製麺の小麦、食材にいたるまで素材にこだわっている。人気メニューは手打ちチャーシューメンと四川みそ野菜ラーメン。手間隙かけてじっくりローストしたチャーシューはまさに絶品。この店の味を求めて、地元だけでなく遠方からも訪ねてくる人気店。



## Hakoji 9 (ハコジ)

2006年に自宅を改装してオープンしたハンドメイド雑貨店。市内を中心に活動し、このお店でしか出会うことのできない作家たち約40人の「作品」を展示販売している。店内の品物全てがハンドメイドの作品であり、手作りにしかできない繊細さを実感することができる。その製作時間を確保するために営業を毎月1日から15日までしているこだわりのお店。



## (福) 聖母福祉会

## 聖ヨゼフの園 11

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のものに来なさい。休ませてあげよう。」というマタイ11.28の一節を基本理念とし、昭和44年に静岡市内で初めて開設した、歴史ある特別養護老人ホーム。現在では、デイサービスやショートステイ、ホームヘルプ、居宅介護支援事業所など高齢者介護に関する様々なサービスを提供している。ボランティア活動などを通じて開設当初から地域との関わりが深く、八幡神社例大祭の際には子ども神輿が施設内を練り歩いたり、施設で開催する納涼祭に人々が訪れるなど、世代や宗教を超えて交流を深めている。



## 学校法人国際ことば学院 10



留学生が日本語の習得と日本文化を学ぶために1991年に設立された日本語学校。1999年に「留学生が通いやすいよう駅の近くに」と、麻機から現在の八幡の地に移転した。2001年には学校法人となり、2002年からは外国语教育および日本語教師の養成も手がけている。さらに、2008年4月には国際ことば学院外国语専門学校も開校し、日本語・英語・中国語・韓国語を独りの学生がすべて学ぶことができるというマルチリンガル養成コースが注目を集めている。現在は世界24カ国から約300人の留学生が学んでおり、市内を中心に県内各地で年間200件以上の国際交流事業に参加して留学生と市民の地域活動（静岡まつり夜桜乱舞参加ほか）を行っているほか、小・中・高等学校や各種施設等で語学を含めた文化活動を積極的に行っている。



## Cafe de Brun (カフェドブラン) 12

2000年に八幡神社のすぐ前にオープンしたクレープ屋さん。お菓子好きの姉妹が自宅の一部を改装した小さな店舗（定員5名）で営業している。甘いクレープはもちろん、おすすめはそば粉100%使用のクレープ。ハムチーズやベーコンサラダなど、食事としてクレープを楽しむことができる。地域の子ども達から大人まで愛されている憩いのお店。取材中、このお店の常連さんで八幡在住のシュガーフラット作家・平松さんと出会った。店内と八幡五丁目の高瀬製菓材料店で天然の染料と香料使用のシュガーマドラーを販売している。

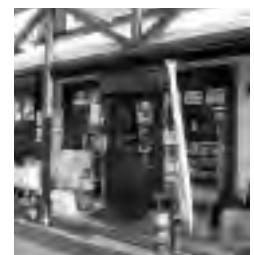


## 勉黄記念・イトウアトリエ 13

八幡にアトリエを構えて精力的な創作活動をする傍ら、地域の子ども達に絵を教えるなど活躍した故・伊藤勉黄画伯の作品を展示するために、夫人が自宅兼アトリエを改築してオープンしたギャラリー。画伯の作品を展示するだけでなく、画伯が生前に親しんだ美術や文学、音楽などに関わる図書や資料も展示されており、幅広い分野の芸術と出会う場所になっている。また、年に1回開催されているミニコンサートでは、毎回たくさんの人々が美術と音楽に親しんでいる。



## お茶・珈琲・紅茶の専門店 くらしかる本店 14



1994年に静岡市内で初のオーダーメイドコーヒー店（コーヒー豆の自家焙煎販売店）としてオープンした。お客様好みに合わせて焙煎（浅焙りから深焙りまで7段階）してくれるだけでなく、産地や栽培法にこだわり厳選されたコーヒー豆を多数取り揃えているため、好みに合ったコーヒーに出逢うことができる。お茶も契約農園（菊川）で米ぬか発酵肥料、木炭酢を使用して農薬不使用栽培したものを販売している。店

主自らが定期的に農園を訪ねて生育状況を確かめ、店頭には「残留農薬検査票」も掲示して、農薬不使用という言葉だけでなく、目で見ても安心できる商品が揃っている。コーヒー豆を焙煎する間、お客様がくつろいでいるようにと店内にはテーブルとイスがあり、コーヒーやお茶の無料サービスをしており、お店とお客様だけでなく、お客様同士のコミュニケーションの場にもなっている。

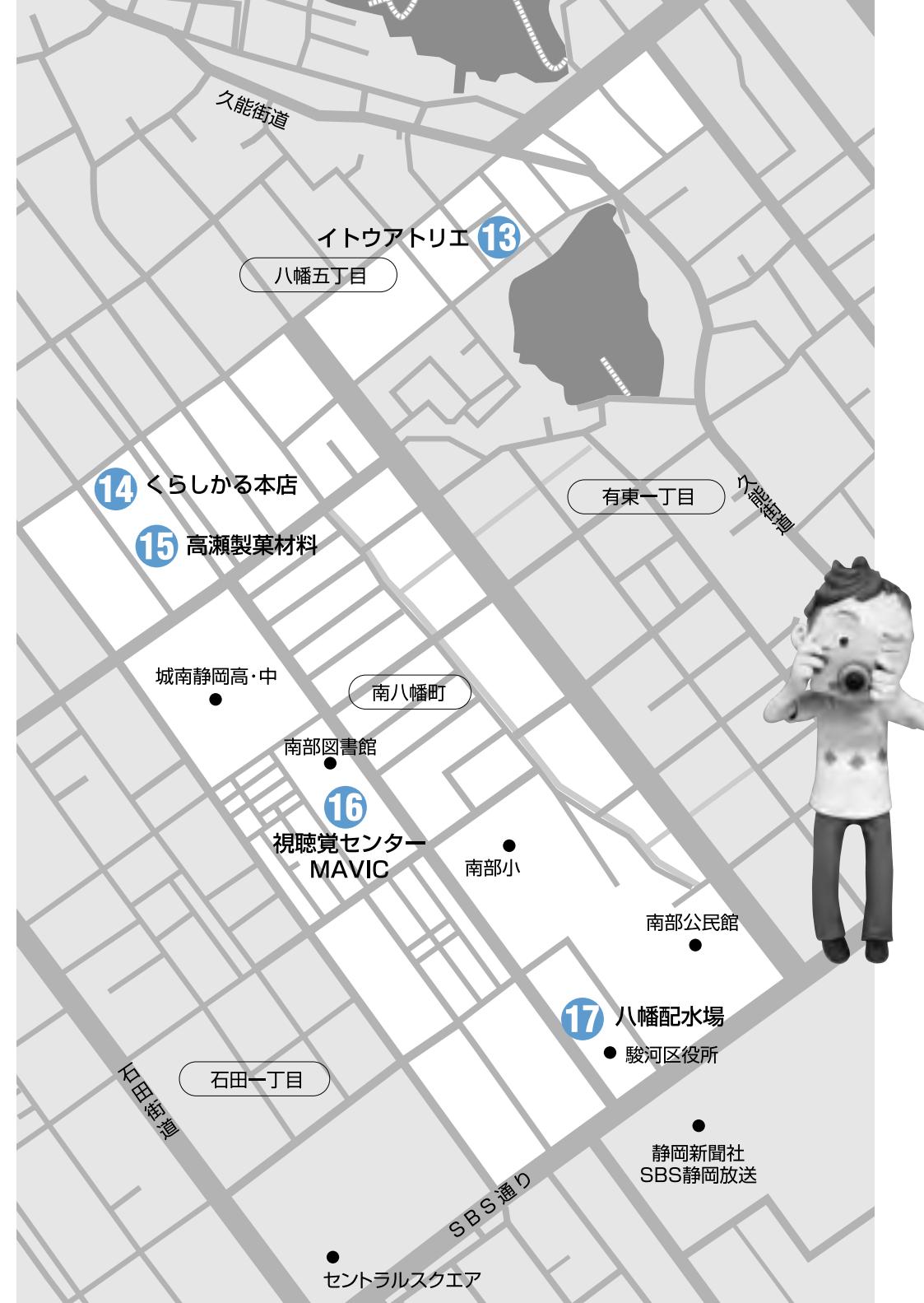


### 八幡Cエリア

## 豆知識

### 三木 卓氏を訪ねて

2007年に日本芸術会員となった、日本を代表する作家で詩人の三木卓氏。三木氏は、幼少期に終戦の混乱のなか母方の身寄りを頼って静岡へ移り住み、やがて中学校時代に八幡鷹之道（現在の南八幡町あたり）の市営住宅に入り、それから大学進学までの青春時代を八幡の地で過ごした。当時の様子を自伝的小説『裸足と貝殻』『柴笛と地図』や、短編集『はるかな町』などに描いており、作品中には静岡の地名や固有名詞が数多く登場している。



## 高瀬製菓材料 15



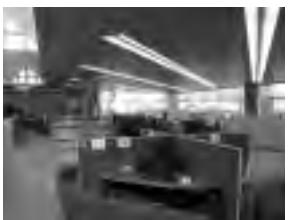
駿河区内では唯一の製菓材料専門店。プロ用の質の高い材料を取り揃えて、パン教室やケーキ教室の先生や、趣味でこだわりのパンやケーキを作る女性に人気を集めている。最近では、子どもが安心して食べられるよう手作りでパンやお菓子を作りたいというお母さんや、定年を迎えて趣味でパン焼きを始める男性も増えており、ますますニーズが高まっている。



## 静岡市視聴覚センター MAVIC 16



平成15年にリニューアルオープンした音楽や映像などの視聴覚に関する資料や設備を備えた施設。愛称の「MAVIC（マビック）」は、Multimedia , Audio and Visual,Information Center（マルチメディア、オーディオ、ビジュアル、インフォメーション、センター）の頭文字からつけられた。映像やパソコンを楽しめるコーナーや、200人収容の視聴覚ホールのみならず、映像収録が可能なスタジオや、映像のデジタル編集もできる設備も完備しており、様々なマルチメディアに関する用途に利用されている。また、画像編集、映像撮影などの講習会や、映画鑑賞会などの各種イベントも定期的に行われており、人気を集めている。



## 八幡配水場 17

八幡、有東、曲金地区の水道を安定供給するために平成12年に完成した配水施設。水道事業の関心を高めるために、特色があつて親しみやすい施設造りをという目的から、「キノコ型」の貯水槽が建設された。外径約30m、高さ約15mのタンク内には、5,000tの貯留が可能で、毎日6,000t～7,000tの水が配水されている。鋼鉄でできたタン



クの外観は、映画に登場する“UFO”にも見えることから、地元の人々から“UFOのタンク”とも呼ばれ、親しまれている。



### 表紙・キャラクター制作

作家プロフィール

## 川内ゆうじ／アトリエサンゴ

神戸市出身。2001年に静岡市清水区にアトリエサンゴをオープン。平面から立体、素材も粘土からCGまで様々な創作を展開中。小学生用音楽テキスト、日本平動物園ポスター、グランシップイベントポスター、店舗ディスプレイなどを手がける。オリジナル作品オーダー人形制作や各種ワークショップの開催も行うなど、多方面で活躍中。静岡デザイン専門学校特別講師。

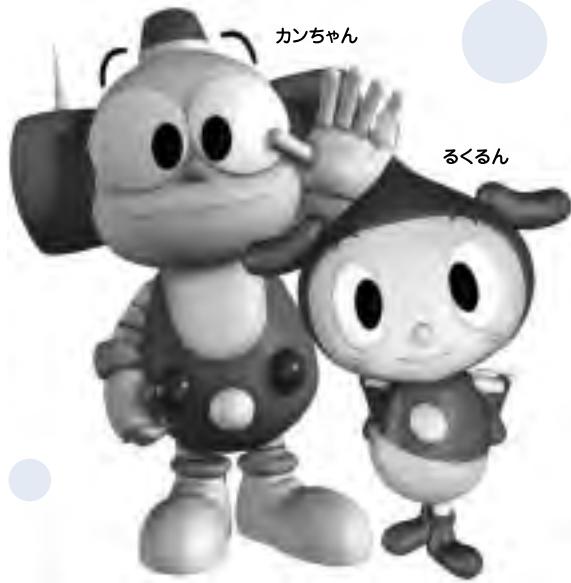




## 「みる・きく・さわる」をキーワードに、 発見する喜びと創造する楽しさにあふれる 静岡科学館る・く・る

「あれ?」「なぜ?」目の前にそんなふしきな世界が広がる、静岡科学館る・く・るです。  
訪れる人はどなたでも、展示物による体験、サイエンスショーなどの催しへの参加を通して、  
いつのまにか科学の世界に巻き込まれることでしょう。  
わたしたちは、静岡科学館で、発見する喜び、創造する楽しさを味わっていただきたいと願っています。  
静岡科学館は、その場を演出します。主役は皆さんです。  
出会い、体験、ふれあいの中から、「科学する心」を見つける旅にご案内します。  
まずはビル1~2階の専用エレベーターを利用して科学館の10階までどうぞ。

静岡科学館る・く・るイメージキャラクター



### 利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(休日を除く)、祝日の翌日(日曜日を除く)、年末年始(12/29～1/3)、臨時休館日
- 入館料
 

小人	中学生以下	無料
大人<個人>	15歳以上 ※静岡市内在住の70歳以上の方は無料	500円
大人<団体>	20名以上	400円
定期入館料	有効期限: 発行日から1年間	3,000円

※障害者手帳等をお持ちの方及び付き添いの方(1名)につきましては入館料が減免となります。  
(障害者手帳とは身体障害者手帳、養育手帳、精神障害者手帳を指します)
- 交通 <電車> JR静岡駅南口徒歩1分  
<自動車> 東名静岡ICから約4km、約10分  
※専用駐車場はありませんので、公共交通機関又は近隣駐車場をご利用下さい。
- お問い合わせ先  
〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ8～10階  
TEL.054-284-6960 FAX.054-284-6988  
ホームページ <http://www.rukuru.jp>

### Information

## 絵本カーニバル in る・く・る

2008.

3.25(火)～4.30(水)

静岡科学館る・く・る9階企画展示室

入場無料 (ただし大人の方は科学館への入館料がかかります)

主催／静岡科学館る・く・る 指定管理者(財)静岡市文化振興財団・絵本カーニバル実行委員会



この春る・く・るに「みて感じて科学する絵本」が大集合!  
300冊以上の絵本に囲まれた空間があなたを待っているよ。  
きっとあなただけのすてきな1冊に出会えるはず。



## 静岡市立芹沢鉢介美術館

当館は、静岡市の名誉市民であり、型絵染の人間国宝である染色家・芹沢鉢介(せりざわけいすけ・1895～1984)より、郷里の静岡市に作品約600点と世界の工芸コレクション約4,500点が寄贈されたのを機に、弥生時代の遺跡として名高い登呂公園の一画に建設され、昭和56(1981)年6月に開館しました。

以来、芹沢鉢介の調査研究、年3回の企画展、美術資料の貸出等を通じて、芹沢鉢介の顕彰につとめています。

芹沢鉢介は88年の生涯にわたり、のれん、屏風、着物、帯、カレンダー、うちわなど日々の暮らしを彩る品々を広範囲に手がけました。芹沢が生み出した模様は新鮮で創意にあふれ、落ち着いた配色とあいまって、芹沢ならではの心安らぐ世界をつくっています。

また、芹沢は、古今東西の工芸品の蒐集(しゅうしゅう)を好み、それらをつねに身辺において楽しんでいました。芹沢自身の鋭い選択眼が感じられるこれらコレクションは、芹沢の「もう一つの創造」と呼ばれています。当館では開館以来館の半分のスペースを割き、作品と平行してこれらのコレクションの紹介に努めてきました。

型染めの実技講座や、講演会や展示室内でのミュージアムコンサート、新茶の時期にお茶のサービス等の事業も美術館ではおこなっています。



### 美術館の施設について

美術館の本館は、日本の建築界の巨匠といわれる白井晟一(しらい・せいいち)の設計によるもので、「石水館」という別名があります。登呂遺跡に溶け込むよう平屋造りで、紅雲石と名づけられた韓國産の赤い御影石をふんだんに用いています。池を中心に展示室を配し、室内の天井は樋の無垢材で組まれ、部分的にオニキスがはめ込まれています。「公共建築賞優秀賞(1988年度)」を受賞、「公共建築百選」にも選ばれています。

また美術館の付属施設として、芹沢の没後、東京・蒲田から移築した「芹沢鉢介の家」があります。この建物は、もともとは宮城県石越町にあった板倉でしたが、芹沢が蒲田に移築して改装し、応接間や自らの蒐集品を陳列する場として使用していたものです。日曜日と祝日に公開しています。



### 静岡市立芹沢鉢介美術館

#### ■開館時間等

開館時間 9:00～16:30

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始、展示替期間中

#### ■入館料

一般410円、高・大生250円、中学生以下無料(団体割引30名以上50円引き)

※市内在住70歳以上の方、身体障害者手帳等の交付を受けている方とその介助者1名は無料

#### ■交通

バス=静岡駅北口④バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約20分終点下車

タクシー=静岡駅南口から登呂公園へ…約10分

東名高速=静岡インターより約10分

駐車場=登呂公園南側に有料駐車場があります。(大型バス11台、乗用車57台)



芹沢鉢介の家

〒422-8033 静岡市駿河区登呂5-10-5 TEL054-282-5522 <http://www.seribi.jp>

# information

インフォメーション

コンサートシリーズ  
**静岡音楽館 AOI-2008**  
ここに響く

芸術監督  
野平一郎

第1期 コンサート情報

ロシアの音楽Ⅰ  
オーケストラを聴こう  
**東京交響楽団 チャイコフスキーのタベ**  
5/23[金] 会場:静岡市民文化会館 大ホール  
19:00開演 全指定 A席:¥5,500、B席:¥4,500(会員 A席¥4,950、B席¥4,050)

池辺晋一郎が贈る「映画音楽の愉しみ」  
6/12[木] 19:00開演 全指定 ¥4,000(会員 ¥3,600)

ロシアの音楽Ⅱ  
**樋本大進(ヴァイオリン)+コンスタンチン・リフシツ(ピアノ)**  
**デュオ・リサイタル**  
6/24[火] 19:00開演 全自由 ¥4,500(会員 ¥4,050)

シーベルトの午後  
田部京子(ピアノ)  
+AOI・レジデンス・クワルテット  
7/13[日] 15:00開演 全指定 ¥3,500(会員 ¥3,150)

高橋アキ ピアノ・コレクション  
with 田中泯(ダンス)  
7/23[水] 19:00開演 全指定 ¥3,500(会員 ¥3,150)

全公演  
大学生以下  
(28歳以下)  
¥1,000!  
※5/23はB席のみ適用

好評発売中!

主催:静岡音楽館AOI 特別協賛:静清信用金庫 TOKAI スター精密株式会社 助成:文化庁 平成20年度文化庁芸術振興助成事業  
http://www.aoi.shizuoka-city.or.jp

## 編集後記 From Editor

- 前号で30号という節目を今号から表紙、内容ともにリニューアルしました。楽しくて親しみがあり、それでいて落ち着いた雰囲気に仕上がったのではないかと思っています。
- 今回は八幡山を中心に取材を進めましたが、徒歩で1時間くらいのエリアに魅力的なスポットがいくつもあって、散策しながら新たな魅力と出会えることと思います。
- いくつかのお祭りや文化活動などが活発に行われており、地域に住む皆さんのまとまりがあって、“地域力”の強さを感じました。
- 皆様がお持ちの情報を元に取材したいと思います。ご意見・ご感想・情報をドンドンお寄せください。

## 参考文献

- 『刻は流れ』海野幸正著 発行:羽衣出版
  - 『静岡瓦斯五十年史』発行:静岡ガス株式会社
  - 『平成十八年度静岡市民文芸』発行:静岡市
  - 静岡市ホームページ
  - 海野幸正氏
  - 八幡神社
  - 勉黄記念・イトウアトリエ
  - 駿河区役所まちづくり振興課
- 静岡文化情報「街かど」第31号  
 ●発行(年2回) 平成20年3月  
 ●編集・発行  
 (財)静岡市文化振興財団  
 〒420-0031  
 静岡市葵区吳服町二丁目1-1 札の辻ビル6階  
 TEL:054-255-4749 FAX:054-653-3501  
 ●デザイン・印刷  
 有限会社サイズ  
 〒422-8063 静岡市駿河区馬渕3-17-28  
 ●表紙キャラクター制作  
 川内ゆうじ・アトリエ サンゴ  
 〒424-0887 静岡市清水区谷田9-22

## 豊かな暮らし作りのパートナー

◆ 健康づくり発信基地!  
各種講座情報は各サイトから情報発信中!

- ふれあい健康増進館ゆらら  
<http://yurashizuoka.com>
- 清水ナショナルトレーニングセンター  
<http://j-step.or.jp>
- 清水日本平運動公園球技場・庭球場  
<http://nihondaira-stadium.com>
- 清水蛇塚スポーツグラウンド
- 清水テルサ(静岡市東部勤労者福祉センター)  
<http://terrafa.net>
- ラペック静岡(静岡市北部勤労者福祉センター)  
<http://lapescshizuoka.com>

◆ 住み良い環境を提供いたします!

- 静岡市営住宅  
<http://s-jutaku.com>

◆ 空から守る皆様の暮らし

- 静岡ヘリポート

## 財団法人静岡市振興公社

〒420-0031 静岡市葵区吳服町二丁目1番地の1 札の辻ビル5F  
TEL: 054-255-8919 FAX: 054-255-9503  
URL: <http://s-ppc.com> (パソコン・携帯共通)

2008年4月  
いよいよ  
開校

実社会で活躍できる国際人育成  
英語、中国語、韓国語の  
同時学習を薦める外国語専門学校

## 東アジア言語学科

## マルチリンガル養成コース

英・中・韓・日の4ヶ国語を同時に学習。アジアを中心世界各国で活躍する人材育成。

## 日本語教師養成コース

需要が高まっている日本語教師を養成。  
併設された日本語学校での豊富な実習。

<http://kotoba.ac.jp>

学校法人 国際ことば学院  
国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区稻川13-9-4  
Tel.054-270-7091

# 春夏秋冬、芹沢デザインのある生活。

製絲染の人間国宝として知られる芹沢銈介は、のれんや着物といった染色作品だけでなく、日常生活にかかるる様々なものをデザインしています。今回の展覧会では、うちわ・グリーティングカード・マッチ・カレンダー・絵図・本・包装紙など、芹沢のデザインを総合的に特集し、全館に三百点の展示を行います。デザイナー！芹沢銈介のあふれんばかりの才能と、日々の暮らしへのあなたがなまなざしご覗ください。



## 芹沢銈介の 生活デザイン

*Lifestyle  
Designs of  
Serizawa*

2008  
1.26(土)  
↔  
5.18(日)

- ◎開館時間 9:00 ~ 16:30 ◎休館日 毎週月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日  
◎入館料 一般410円、高大生250円、中学生以下無料(団体割引30名以上50円引き)  
◎交通 バス … 静岡駅北口④バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約20分終点下車  
タクシー … 静岡駅南口から登呂公園へ…約10分 東名高速 … 静岡インターより約10分  
駐車場 … 登呂公園南側に駐車場があります  
◎共催 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂5-10-5 (登呂公園内) TEL054-282-5522 [www.seribi.jp](http://www.seribi.jp)

上の写真:美術館工展示室

